



# 全国校友千葉大会を終えて

全国校友千葉大会は、千葉県西部支部の皆さまのご協力のおかげで大会を無事終えることができました。10月5日(土)の前夜祭、6日(日)の記念式典や懇親会には支部の多くの会員の方の参加をいただきありがとうございました。

全国大会の準備作業は約3年半の間に亘って月1回のペースで行われ、東西支部長を中心とした会議を重ね、準備作業を進めました(私は仕事の関係で後半の1年半はあまり会議に参加できませんでした。前田支部長すみませんでした)。



その間、実行委員会事務局として、平成28年6月26日(日)にホテルグリーンタワー幕張で明治大学全国校友千葉大会の実行委員会決起大会を行い、全国大会への機運を高め準備作業を進めました。

最初に大きな課題として、全国大会の会場をどこにするか東西の支部長を中心に話し合いを行いました(結構白熱した議論を重ねました)。

平成28年11月29日(火)には、候補地として挙げられた幕張の「ホテルニューオータニ幕張」、「東京ベイ幕張ホール」、舞浜の「東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート」の3会場を東西の支部長をはじめ、各地域支部長と見学をさせていただき、話し合いを行った結果、「前夜祭については、浦安市舞浜において実施することとし、会場は舞浜ホテルクラブリゾートのインペリアルホールを基本に料金面等を考慮して決定する」、また「記念式典及び懇親会については、千葉市美浜区(幕張)において実施することとし、会場はホテルニューオータニ幕張の鶴の間を含めた2階フロアを基本に料金面等を考慮して決定する」と決まりました。

その後、東西支部長を中心に白熱した会議を重ね、全国大会の成功を夢見ながら準備作業を進めました。そのような中、平成30年2月10日(土)にホテル

グリーンタワー幕張において、実行委員会主催の明治大学全国校友千葉大会の決起大会を開催し、全国大会を1年半後に控え、東西両支部の会員の士気を高め(?!), 全国大会成功に向けた寄付集めに奔走しました(本当かな?)。

また、令和元年7月27日(土)には、「鵜澤總明博士 顕徳碑」顕彰記念ツアーが行われ、猛暑の中、顕徳碑がある茂原市立新治小学校体育館において、明治大学関係者、明治高校関係者や地元茂原地域支部の会員をはじめ、多くの方々に参加をしていただき、式典が行われました。式典では参加者が献花や明治大学校歌斉唱を行い、全国大会の成功を祈願しました。

他にも西部支部の各地域支部長には、前夜祭の役割分担等の打合せで何回も浦安に足を運んでいただき、感謝の言葉もありません。

特に、前夜祭の当日は残暑が残る中、西部支部の役員の方々には参加者の案内や受付等のご協力をいただきありがとうございました。皆さまのお力添えをいただいたおかげで、大会当日は、大きなトラブルもなく無事終了でき、会員の皆さまには感謝の言葉しかありません。

私自身もこの3年半の間、色々な経験をさせていただき、色々な意味で成長できたのではと思っています。本当にありがとうございました。

(昭62年政経卒 大会実行委員 田中賢司)

## 第16回 千葉県西部支部総会開催

昨年6月16日(日)に第16回千葉県西部支部総会が開催されました。会場は、流山市の『柏日本閣』でした。

総会には、ご来賓の方を含め129名の参加者があり、今回の担当地域支部である松戸地域支部長の清水潔副支部長の開会の辞で始まり、最初の前田勝己支部長の挨拶は、きちんとまとまっています、全国校友千葉大会を成功に導く力強いものでした。議事は例年通り、事業報告、収支報告、監査報告、



事業計画案、収支予算案が審議され、最後に改選期を迎えた支部選出の代議員に小疇尚氏の再選が承認され、ご出席の皆さまのご協力により、議事は滞りなく進行しました。

議事終了後、ご来賓の祝辞をいただきました。大学の飯田和人経営企画担当常勤理事には、最近の学校事情を詳しく話して頂き、校友会の向殿政男会長には久しぶりにご参加いただきました。最後は竹之内明副支部長の閉会の辞で、総会は無事に終了しました。

懇親会は、山中勇副支部長の開会の挨拶で始まり、全国校友大会を共催する千葉県東部支部からご来賓として出席いただいた副支部長兼千葉地域支部長の新城洋一氏の挨拶があり、全国大会への意気込みを感じました。そして行木勝雄名誉支部長の乾杯の音頭で開始されました。

アトラクションはアイドルの歌に振り付けをコピーレパフォーマンスを披露する現役学生のコピールドルダンスサークル『Copia(こぴあ)』の演目でした。活気溢れる若い力で会場を盛り上げ、大いに楽しい時間を過ごしました。

最後は応援団出身で支部の将来を担う若手会員の石原敏和氏の号令の下、恒例の校歌斉唱を行い、締めは内山正徳会計幹事の閉会の挨拶で令和最初の総会が終了しました。

今回の総会・懇親会には、延べ140名の会員が参加し、秋に開催される全国校友千葉大会が成功するであろう予感を感じられる千葉県西部支部の総会でありました。

最後に、総会・懇親会の司会を担当された松戸地域支部の土屋成美会員と中山高春会員(現松戸地域支部長)の御尽力により、進行が滞りなくすんだことを感謝します。(昭62年法卒 幹事長 武士田卓志)



柏地域支部

9年前のこと

「間もなく9年ぶりとなく仙台行きの特急列車が、この柏駅に着いたします」

「本当に、本当に、たいへん長らくお待たせをいたしました。また、このよう

な状況の中、ご乗車いただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。令和2年3月14日、JR柏駅の構内に流れたアナウンスです。

9年前の3月11日、大地震とそれに伴う巨大津波・原発事故が相ついで起こり、首都圏は通信・交通網の寸断、停電、緊急避難のため大混乱に陥りました。とくに福島第一原子力発電所の近くに住む人たちは避難・退避を余儀なくされました。

そのころ、朝の通勤時に常磐線上りの長距離電車に乗ると、慣れない様子で乗客の様子や車窓の景色を眺める家族連れをよく見かけました。常磐線は南千住を過ぎると東京スカイツリーが大きくみえます。子供たちは初めてみる光景にはしゃぎますが、大人たちは今後のことを案じてか、どことなく浮かない様子でした。あれから9年、あの家族は今どうしているのか、気になります。

9年前といえば、校友会千葉県西部



支部長は柏在住の猪瀬主税氏でした。猪瀬氏はその後1年務めて退任されましたが、そのころすでに全国大会開催についてお話をされていました。その全国校友千葉大会は昨年10月に開催され、大盛況のうちに幕を閉じることができました。奇しくも大会の会場で猪瀬氏の訃報に接し、何か不思議な因縁を感じました。同じく9年前、柏地域支部長であった宇都宮幸正氏は、その後退任して療養中でしたが、千葉大会にはどうしても出たいとの思いが強く、前夜祭・大会ともに出席され、旧知の校友と歓談を楽しみました。

千葉大会の盛況は千葉県東部支部、西部支部より集まった実行委員の尽力の賜物ですが、それはまた両支部の歴代の支部長、地域支部長はじめ、多くの校友の想いの結晶だったのではないかと思います。

(昭53年工卒 山田秋彦)

船橋地域支部

船橋地域支部の活動について

船橋地域支部は、16年目を迎えて現在会員数150名が在籍しております。

年間の主な活動は、ホースセラピー乗馬体験会(天沼弁天池公園)、第15回定時総会(懇親会)、会報暁の鐘13号発行、女子会、千葉県西部支部総会(懇親会)、船橋市民まつりへの参加(大学PR&グッズ販売)、夏季および冬季懇親会(明治大学創立140周年記念募金活動)、船橋競馬観戦、第22回ホームカミングデー(駿河台キャンパス)、第8回懇親旅行(1泊バス旅行・焼津市)、第6回歩こう会(生

田キャンパス)、秩父宮ラグビー観戦(明治対早稲田)、麻雀&ゴルフ大会、幹事会等を実施しており、開催案内通知と参加者を募っております。

どの地域支部も共通な課題でありますが、参加メンバーは高齢者が多く、新規参加者はのぞめない状況であります。

地域支部の課題

は、①新規の会員獲得②女子会員の加入促進③役員の高齢化があげられます。

これらの課題を解決すべく毎月1回役員会を開催し、情報交換等種々検討しておりますが、なかなか妙案が見つかりません。

本年度も昨年同様、2020年事業計画(諸行事)を実施してまいりますので、皆さまの積極的な参加をよろしくお願いいたします。

最後に昨年10月に行われました『第55回明治大学全国校友千葉大会』には、全国津々浦々から校友が集まり、盛大に開催されました。

船橋地域支部の皆さまには、千葉大会の開催趣旨を理解して頂き、協賛金および企業広告の協力を頂きました。さらに、前夜祭・記念式典・記念講演(鳥塚亮前社長「考え抜く力」)および懇親会(アトラクション・エクスカーション)への参加により、大会を盛り上げて頂くことが出来ました。会員の皆さまのご協力・ご支援に心から感謝いたします。

(昭43年政経卒 穴澤豊治)



松戸地域支部

校歌制定100年に支部を引き継いで

明治大学校友会松戸地域支部は、平成10年11月支部創立総会を行い、一昨年の平成30年には無事に支部設立20周年を迎えることができました。

この間、支部設立の目的であります「明治大学への賛助、校友相互の親睦、地域社会への貢献」に対して、清水潔支部長を先頭に精一杯の努力を重ねて参りました。

特に支部活動の最大のイベントでありますマンドリン倶楽部による6回に亘るチャリティーコンサートの成果によりまして「大学への賛助」としての寄付に加え、「地域社会への貢献」としても松戸市内の特別養護老人ホームに、累計92台におよぶ『車椅子』を贈呈することができました。これらの目的が達成できましたのも、多くの校友とその関係者のご協力の賜物と改めて御礼申し上げます。

さて、昨年11月17日に開催しました第22回総会におきまして、中山高春が新支部長に推挙され、満場一致で選任されましたこと、創立以来の功勞に対して清水潔前支部長に名誉支部長を委嘱、また新幹事長に後藤優氏を指名し承認されましたことを報告申し上げます。今後とも設立目的の実現に向けて、なお一層努力する所存でありますので、何卒さらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。

ご存知のように母校明治大学は、令和初の正月を迎え、競走部が箱根駅伝総合6位で5年ぶりにシード権を獲得、また大学選手権二連覇を目指すラグビー部は準優勝を獲得、さらに入学

志願者も14年連続10万人を突破と誠に幸先の良いスタートを切りました。

ところが、その後の人類を脅かす新型コロナウイルス感染症パンデミックの影響により、大学の一大行事である卒業式・入学式共に中止、さらに授業開始が5月の連休明けと今後とも予断を許さない状況となっております。

松戸地域支部でも2月23日に新体制となつて初めての新年会を、母校明治大学で開催すること致しましたが、直前になって参加者の健康・安全を考慮して、中止せざるを得ない苦渋の決断に迫られました。

言わずもがな成人を過ぎた当支部においても、他の地域支部同様、新規会員獲得や会員の高齢化など、さまざまな問題が横たわり、簡単には解決できそうもありませんが、松戸の校友が『ONE TEAM』となつて、『明治はひとつ』の合言葉のもと、支部活動のさらなる充実と発展を期して参りますので、従来にも増して、ご協力とご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

(昭46年商卒 中山高春)

## 流山地域支部

### 全国大会参加と支部活動方針

第55回全国校友千葉大会については、2つの支部の合同で開催するといふ、55回の大会の歴史でも初めてのケースであり、支部長をはじめとして幹事一同、運営の困難さを危惧してしました。しかし、両支部の関係者の皆様の懸命なご尽力の結果、大会は大いに盛り上がり、成功裡に幕を閉じることができました。関係者の皆様に謝意を表するとともに、地域支部一同苦労が

報われたと思つています。

さて、流山市には現在約1300名の校友が在住しています。校友会の地域支部としては、2007年に小疇尚氏(明治大学名誉教授)を支部長に迎え、内山正徳氏に幹事長をお願いして発足しました。その後、4年前に支部長として広井武昭氏を迎え、幹事長は留任の内山氏の体制で今日に至っています。

校友会の多くの組織が直面している会員の高齢化は、流山地域支部の活動にも大きな影響を及ぼしています。その一端を表しているのが、全国校友大会や西部支部等の行事や各種イベントに参加する会員のほとんどが70歳以上の高齢者で占め、かつ参加者数も漸減している状態であり、組織体としての若返りと活性化・効率化が強く求められています。

地域支部のこの1年の活動を要約すれば、開催事業としてはほぼ例年通りで、流山地域支部第13回総会、千葉県西部支部第16回総会、第55回明治大学全国校友大会、さらに、地域支部の会員サービスの一環として開催した秋季バスハイイク笠間稲荷地区(写真参照)、明早戦ラグビー観戦と忘年会、他地域支部と合同で開催したゴルフコンペ、麻雀大会などがあ



ります。また、市在住の校友に対するサービスとして、1年間の当支部の活動を総括して編集した「明治大学校友会・流山地域支部便りNo.13」を発行・送付しました。

2020年度の活動方針として、地域支部の運営の効率化の推進を図るために若手会員の幹事会への参加者の勧誘・要請に力点を置くこととしました。このことに関して、他支部との意見交換会の設置を提案したいと考えています。(昭44年工院修卒 菊池雅史)

## 我孫子地域支部

### 日帰り懇親バス旅行

当地域支部の年間行事で楽しみの一



つでもあるバス旅行のシーズンがやって参りました。福祉バスの確保が最優先のため、所定の手続きが済み、実施日が11月14日(木)に決定しました。

今回が9回目で、過去8回は校友会千葉県西部支部だより(第15号2019年夏)に詳細は掲載されております。過去のバス旅行は、一に食事、二にお買物、三に観光、四に体験の要素を考慮して実施してまいりました。マナー化を防ぐため、逆転の発想で体験を一にし、その他の要素を加味して今回は、企画立案しました。

時は正に中秋、紅葉にはちよつと早いが季節感十分楽しめる予感から都下の多摩丘陵の一角の野猿峠とその付近の散策を考慮しました。

最初に、日野市の【高幡不動尊】の参拝をすませました。真言宗智山派別格本山で古来関東三不動の一つに挙げられ、高幡不動尊として親しまれています。紅葉には少し早かったのですが、参道及び境内のいたる所に菊の花が展示され、菊の香りを満喫する多くの参拝客で賑わっていました。

また、本境内には明治の箱館戦争で戦死した新撰組副長土方歳三の碑があり、高幡山の檀頭格である生家では毎年歳三の命日に近い5月第2日曜日に、新撰組まつりが開催されています。

さて、本日のメインの体験は、野猿峠の一角にある炉端焼きの老舗【鎌田鳥山】での野鳥コース(うずら2羽、つくね、うずら玉子、季節野菜串焼き3種、こんにゃくの山椒みそ、煮物、なめこ汁、むぎとろ、みかん等)を飲食しました。当時の面影を残す炉端を4〜5人で囲んで自ら焼きながらいた

だくことで、期待以上に大変美味しく満喫しました。通常は2時間を所算するのですが、当日は時間が短く残念でした。機会があれば時間を考慮して、再チャレンジしたいお店の一軒であると思います。

開祖の狩人鎌田弁弥は、山野の獲物を追ってこの丘陵に辿りつき、霞網の猟場を設けました。往時は、この地一帯には野生の猿が多く住んでいたことから野猿峠と命名し、山小屋を設け鎌田の「とや」と呼び、渡り鳥を捕るための山小屋でした。当時、狩猟家のもとより、知名の氏の倶楽部になっていたとのこと。

本日、最後の訪問先は、東京都内で唯一の道の駅【八王子滝山】でのお買物。都下の物産、山梨県の土産品が数多く販売されており、各自が十分買い求めて満足、車中の人となり、予定時間内に全員無事、ふれあい公園前に到着、帰宅しました。

(昭31年法卒 萩谷常夫)

### 市川地域支部

#### 市川地域支部の活動を振り返って

市川地域支部は本年設立15周年を迎えることとなります。

平成17年に第1回の総会が開催され、以降母校と地域のために様々な活動を行ってきました。昨年は全国校友千葉大会を千葉県東西支部の共



催で無事に実施することもできました。市川地域支部は前夜祭の舞浜駅での案内を担当し、翌日の記念式典、懇親会には70名程が参加して大いに盛り上がりました。

今年の活動を振り返りますと、まず2月3日に73名が参加した新年会に始まり、5月12日には79名の参加で地域支部総会を開催しました。同好会活動では8月にボウリング大会と暑気払いのビアパーティーを実施。秋にはハイキング同好会で六大学野球秋季リーグ(立教戦)の応援会を実施しました。

初回に大量5点リードしたにも関わらず、9回裏に同点に追いつかれて引き分けに終わり、残念な観戦となりました。秩父宮ラグビー場での明早戦を観戦しました。試合は36対7の圧勝で対抗戦Aグループの優勝を果たしました。

また地域貢献の活動としては、11月3日に開催された「いちかわ市民まつり」にブースを出店し明治大学と校友会のPRや会員募集を行いました。その他、ゴルフ同好会やカラオケ同好会も活発に活動しています。昨年実施して好評だった「チヤレンジ料理教



室」は第2回を開催し、講師に料理研究家の山田玲子先生を迎えて17名が参加。みそ汁づくりと豚肉の生姜焼き、もやしのナムルに挑戦しました。多少の失敗もありましたが楽しい雰囲気の中で完成させ、作った料理の美味しさで大満足で有意義な教室でした。

(昭47年政経卒 明村澄雄)

### 浦安地域支部

#### 全国校友千葉大会前夜祭のお礼

昨年10月5日の全国校友千葉大会前夜祭には、全国から多くの校友にご参加いただき大盛会のうちに開催することが出来ました。また千葉県内の各地域支部からたくさんの方が浦安の東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾートにご参加いただき、舞浜駅での案内やホテル会場での受付、記念品の配布、来賓の接待等とお手伝い頂いたことに厚く感謝申し上げます。例えば3年前から西部支部の連絡会議を開催し、開催に向けての準備を続けて来ましたが、令和元年度に入ってから時計の針の進むのが早く、本当に期日までに準備が終わるのかと大変心配をしたものです。

しかしそれも杞憂に終わり、素晴らしき前夜祭を開催する事が出来ました。

今回の大会で感じたことですが、実際に準備を進めたり、当日のお手伝いを通じて、それぞれの地域支部の方々と親交を深めるよい機会になったと思えました。総会などでお顔を合わせて話すことのなかった方々とお知り合いになれたことは「明治はひとつ」を現出来た事と感謝しております。

さて令和2年度は、新型コロナウイルスの関係で、いろいろなところで自粛が叫ばれております。浦安地域支部恒例のお花見は一番の自粛対象となり、やむを得ず中止となりました。また総会に向けた役員会は、予定していた会場の建物が見当のところが閉館のため、書面表決になりました。早く収束してもらわなければ、総会やその後の活動にも影響を与えようと思っております。

現在は前途多難な状況ですが、コロナウイルスが収束し、活動が再開した暁には、より一層地域に根差した浦安地域支部として活動してまいりたいと思っておりますので、皆様方のご鞭撻をよろしく願います。

(昭52年法卒 板橋純三郎)



# 第56回 全国校友香川大会のお知らせ

今年の全国校友大会は、四国の玄関口、近年は「うどん県」で知られる香川県（高松市）です。弘法大師こと空海の故郷であり、「こんぴらさん」の名前で親しまれている金刀比羅宮で有名な香川県。空路で行くもよし、陸路から瀬戸大橋を渡るもよしの観光地。玉越支部長の指揮の下、香川県支部の会員総力を結集し、全国からの校友を迎える準備に余念がないそうです。



昨年大会は千葉県で開催され、参加した方はもちろん、残念ながら参加できなかった方も、今年は大勢の方に参加していただきたく、お誘い合わせの上、ご参加ください。

日時・・・9月5日(土)・6日(日)  
場所・・・サンポートホール高松(記念式典・講演会)  
JRホテルクレメント高松(前夜祭・懇親会)  
スローガン「おいでませ お接待の心 うどん県。」

## 第十七回 千葉県西部支部 総会・懇親会のお知らせ

◇日時 令和2年6月14日(日) 午後1時～  
◇会場 ハート柏迎賓館

◇会費 六千円(懇親会)  
◇公開講演会(無料)午後1時～  
☆講師 玄海酒造株式会社(むぎ焼酎吉岐製造元) 取締役会長 山内 賢明(昭和30年政経学部卒)

◇総会・懇親会 午後2時～  
※公開講演会は一般公開ですので、ご家族・知人・柏市民のご来場も歓迎です。

## 第二十三回「ホームカミングデー」のお知らせ

開催日 令和2年10月25日(日)  
会場 明治大学駿河台キャンパス全域  
(リビティタワー、アカデミーコモン、グローバルフロント)

# スポーツニュース

## 箱根駅伝2020 総合6位 シード権獲得

令和2年1月2日・3日に開催された箱根駅伝2020において、明治大学は総合タイム10時間54分46秒、6位と健闘して来年度のシード権を獲得しました。優勝したの大会新記録を更新した青山学院大学でした。箱根駅伝は出場するだけでも大変で、母校も毎年出場できるとは限りません。お屠蘇気分でも母校を応援していると、しみじみ明治を卒業してよかったですと思います。上位に食い込むとさらに嬉しいです。来年も頑張れメイジ!

## ラグビー対抗戦Aグループ優勝

令和元年12月1日(日)秩父宮ラグビー場での対抗戦ラグビー明早戦は25年ぶりの両校全勝対決となり、ワールドカップでの日本代表の活躍の影響もあり、ほぼ満席の2万人以上の観客を集めて、12月としては暖かな曇天の中で試合は始まりました。

序盤は早稲田陣内に攻め込めない時間が続くも、前半17分に先制トライ。その後早稲田にトライを許して同点に追いつかれましたが、PGで追加点を奪い、3点リードで前半を終えました。

後半に入っても、まず2分にトライ、続いてラインアウトから得意のモールで持ち込み、連続トライを奪いました。後半途中からは日が差しはじめ、眩しい日差しの中で、更に2トライが決まり、36対7の圧勝で対抗戦Aグループでの優勝を決めました。年を明けての大学選手権では早稲田に敗れ、連覇はできませんでしたが、見ごたえのある試合でした。

## サッカー部 初の3冠達成

昨年8月の総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントを優勝し、関東大学サッカーリーグ戦を18勝2敗2分(勝点56)で優勝を果たし、2冠を達成しました。残す全日本大学サッカー選手権大会(インカレ)のタイトルを奪取し、創部初の3冠という偉業を目指した12月22日の浦和駒場スタジアム。決勝戦は奇しくもリーグ戦の1位と2位の対戦となり、桐蔭横浜大が相手でした。前半後半は互いに慎重な試合運びとなり0対0で終わり、延長戦へ突入しました。延長前半に先取点を取られて万事休すかと思われましたが、PKで1点を返すと勢いが付き、結局3対1で明治が勝ち、優勝と3冠達成の栄冠を得ました。優勝を手にした選手以上に、スタジアムに来場していた土屋学長の自慢げな顔が印象に残りました。

## 千葉県西部支部ではホームページとブログを運営しています

千葉西部支部のホームページでは、千葉西部支部総会を始めとして、全国校友大会、各地域支部のイベント、明治大学のホームカミングデーやスポーツの話題などを掲載しており、会員の皆さまとのコミュニケーションを深めるために運営しています。ご意見や情報をどしどしお寄せ下さい。



【ホームページとブログの閲覧方法について】  
インターネット・エクスペローラなどのウェブブラウザのアドレスバー(現在閲覧中のウェブページのアドレスが表示されている場所)に、下記のURL(閲覧したいホームページなどの宛先アドレスのこと)を入力してエンターキーを押して下さい。  
URL: <http://chibakoyu.dip.jp/>

## 各地域支部の総会・懇親会

☆我孫子	4月26日	中止
☆流山	5月16日	中止
☆市川	5月17日	中止
☆浦安	5月23日	中止
☆柏	5月24日	中止
☆船橋	5月31日	中止
☆松戸	11月15日	聖徳大学10号館

## 編集後記

今回、打ち合わせはJR東松戸駅のカフェで行いました。私は新浦安在住。このような機会がないと一生、東松戸駅では降りなかったのでは、と思っています。地域支部間の交流もこの感覚で行きましょう!一生一度の機会かも?皆さん、地元の良い店、紹介してください!

## 編集委員

- 服部 真樹(編集長・浦安)
- 宇津野史行(松戸)
- 山田 秋彦(柏)
- 太田 出(我孫子)
- 山崎とよ子(船橋)
- 明村 澄雄(市川)
- 川根 正教(流山)
- 武士田卓志(幹事長)

